

○事業所名	ひふみ千曲桜堂		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月28日		

○ 分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
専門職(保育士・作業療法士・理学療法士)を配置しています	専門的視点で、個別および集団支援を行うことができます。	今後、さらに個々に応じた支援の充実を図れるように日課の工夫、活動プログラムの工夫を行っていきます
充実した活動支援プログラムの構築ができています	5領域を踏まえて、月案から週案へ丁寧に落とし込みを行い、スタッフの強みを活かし、子ども達の発達状況に応じた支援を行っています	こども園等との連携を図りながら、子どものみならず、園の先生方とも情報共有を図り、一貫したサポート体制ができるようにしていきます
ご家族へのサポート	電話やメール等での相談があった場合には、時間調整を行いながら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っています。 利用予定日に利用が難しい時には、振替を調整し対応しています	親子の時間、親御さん同士の交流や学びの時間を今年度から計画しているので、ご意見を聞きながら、安心して子育てできる環境を整えていきます
運動遊びを主軸とした療育の実施	屋内での運動遊びに加え、地域の資源(公園や体育館等)を活用し、感覚統合の視点も入れ運動遊びを行っています。	動きの多様化やお子さんの発達段階に応じた運動遊びの提供を行っていきます。

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 ・児童福祉事業の経験年数が少ない職員が多いため、資格を十分活かして日々の療育にあたるのが難しい。	・経験豊富な職員を研修担当として、非常勤として配置するなど工夫している。	・社内研修の充実を図りつつ、外部研修へも積極的に参加できるように体制を整えていく。 ・日々のミーティングが最も重要な研修にも繋がるため、職員間で意見の出し合える環境をより構築していく。
2 ・保護者との面談スペースが十分に確保できていない。	・事務室内に面談用のスペースを設け、移動式のパーティションで仕切る等の対応を行う。	・構造的な問題が大きいため、すぐには難しいが、現在の事務室内のレイアウトを変更するなどしていく。
3 ・ほとんどの書類関係を、Excel、Wordといったツールを使い管理しているが、得意不得意があり、時には業務に支障きたすことがある。	・VBAやマクロを使用し、できるだけ簡単に書類作成や管理業務が行えるように工夫している。	業務効率化を図ると同時に、その時間を療育関係に充てていく。